

令和4年度

主要な施策の成果と
予算執行の実績報告

亘理地区行政事務組合

目 次

ページ

I	令和4年度一般会計決算概要	1
II	令和4年度款別決算表	2
III	四半期ごとの収支及び予算執行状況	3
IV	性質別歳出内訳表	4
V	地方債現在高調	4
VI	一般会計の状況	6
	【1款 議会費】	
1	議会の状況	
(1)	定例会及び臨時会	6
(2)	調査及び活動研修	6
	【2款 総務費】	
1	総務管理の状況	
(1)	総務事業	6
(2)	主な支出	8
2	監査委員の状況	
(1)	監査の状況	9
(2)	調査及び活動研修	9
	【3款 衛生費】	
1	葬祭場の状況	
(1)	葬祭場の管理状況	10
(2)	主な支出	10
	【4款 消防費】	
1	消防事務の状況	
(1)	消防職員の研修状況	11
(2)	消防職員の資格取得状況	12
(3)	消防職員の訓練状況	12
(4)	消防の諸活動	13
(5)	予防活動の状況	16
(6)	消防団への訓練指導	17
(7)	県移譲事務の状況	18
(8)	消防施設等の整備	18
(9)	主な支出	19

I 令和4年度一般会計決算概要

令和4年度における当組合一般会計の決算は、前年度の決算と比べ歳出は7,635万2千円の増であった。これは、新型コロナウイルス感染症対策の一環としてICT環境を整備したほか、老朽化が進む庁舎施設の維持管理費や燃料及び光熱費などの高騰が主な理由である。

歳出の主な内容としては、人件費が歳出額の73.6%を占めた。投資的経費では、普通建設事業費において高規格救急自動車等の車両更新事業を行った。

総務管理費では、女性職員の増員に対応するため岩沼消防署女性仮眠室改修工事を行い、庁舎施設の保全管理に努めた。また、各署にWi-Fi環境を構築、IT機器運用の基盤環境を整備し、ICTの利活用により業務効率化に努めた。

葬祭業務では、亘理葬祭場の3号炉維持修繕及び再燃焼炉等改修工事を行い、火葬炉設備の保全管理に努めた。

消防業務では、消防広域化車両更新計画に基づき、山元分署高規格救急自動車及び岩沼消防署連絡2号車を更新、また、亘理町より県内初となる電動ストレッチャー積載の高規格救急自動車は無償貸与されたことから、より効率的な消防体制を図り、地域住民の負託にこたえられるよう対応を行った。

1 決算収支

令和4年度決算規模は、一般会計歳入歳出予算総額13億4,431万7千円に対し、歳入決算額13億4,456万5千円（対前年度比106.7%）、歳出決算額13億1,381万1千円（対前年度比106.2%）、歳入歳出差引額は3,075万4千円となった。

実質収支は、歳入歳出差引額と同じ3,075万4千円となり、そのうち、地方自治法第233条の2の規定により、2,975万3千円を財政調整基金へ積み立て、100万円1千円を令和5年度に繰り越すこととした。

（単位：千円）

区 分	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出 差 引 額 (A)－(B) (C)	翌年度に繰り 越すべき財源 (D)	実質収支 (C)－(D) (E)	歳計剰余金 積立	純繰越金
令和4年度	1,344,565	1,313,811	30,754	0	30,754	29,753	1,001
令和3年度	1,260,360	1,237,459	22,901	0	22,901	21,901	1,000

Ⅱ 令和4年度款別決算表

1 歳 入

(単位:円・%)

科 目	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	予算額に 対する収入 増 減 額	収入割合(%)		
							予算率	調定率	構成比
1 分 担 金 及び負担金	1,278,615,000	1,278,615,470	1,278,615,470	0	0	470	100.0	100.0	95.1
2 使 用 料 及び手数料	1,810,000	1,880,300	1,880,300	0	0	70,300	103.9	100.0	0.1
3 県支出金	7,281,000	7,341,130	7,341,130	0	0	60,130	100.8	100.0	0.6
4 財産収入	1,000	921	921	0	0	△79	92.1	100.0	0.0
5 繰 入 金	20,210,000	20,210,000	20,210,000	0	0	0	100.0	100.0	1.5
6 繰 越 金	1,000,000	1,000,285	1,000,285	0	0	285	100.0	100.0	0.1
7 諸 収 入	2,700,000	2,816,587	2,816,587	0	0	116,587	104.3	100.0	0.2
8 組 合 債	3,270,000	32,700,000	32,700,000	0	0	0	100.0	100.0	2.4
合 計	1,344,317,000	1,344,564,693	1,344,564,693	0	0	247,693	100.0	100.0	100.0

2 歳 出

(単位:円・%)

科 目	予算現額	支出済額	不 用 額	執行割合(%)	構成比(%)
1 議 会 費	2,545,000	1,958,138	586,862	76.9	0.1
2 総 務 費	105,588,000	98,172,121	7,415,879	93.0	7.5
3 衛 生 費	31,236,000	29,551,875	1,684,125	94.6	2.3
4 消 防 費	1,068,227,000	1,048,440,512	19,786,488	98.1	79.8
5 公 債 費	135,721,000	135,688,220	32,780	99.9	10.3
6 予 備 費	1,000,000	0	1,000,000	0.00	0.0
合 計	1,344,317,000	1,313,810,866	30,506,134	97.7	100.0

Ⅲ 四半期ごとの収支及び予算執行状況

1 歳 入

(単位:円・%)

区 分	第1・四半期 (4～6月)	第2・四半期 (7～9月)	第3・四半期 (10～12月)	第4・四半期 (1～3月)	出 納 整 理 期 間	合 計
予 算 額	1,353,313,000	1,353,313,000	1,353,313,000	1,344,317,000	1,344,317,000	
1 分 担 金 及び負担金	643,811,735	321,360,000	322,443,735	0	△9,000,000	1,278,615,470
2 使 用 料 及び手 数 料	457,400	490,500	678,600	253,800	0	1,880,300
3 県 支 出 金	150,000	296,130	1,530,000	4,595,000	770,000	7,341,130
4 財 産 収 入	0	0	0	921	0	921
5 繰 入 金	0	0	0	20,210,000	0	20,210,000
6 繰 越 金	1,000,285	0	0	0	0	1,000,285
7 諸 収 入	128,680	184,490	1,161,991	1,227,821	113,605	2,816,587
8 組 合 債	0	0	0	32,700,000	0	32,700,000
合 計	645,548,100	322,331,120	325,814,326	58,987,542	△8,116,395	1,344,564,693
歳入累計(A)	645,548,100	967,879,220	1,293,693,546	1,352,681,088	1,344,564,693	
予 算 に 対 す る 収入割合(%)	47.7	71.5	95.6	100.6	100.0	

2 歳 出

(単位:円・%)

区 分	第1・四半期 (4～6月)	第2・四半期 (7～9月)	第3・四半期 (10～12月)	第4・四半期 (1～3月)	出 納 整 理 期 間	合 計
予 算 額	1,353,313,000	1,353,313,000	1,353,313,000	1,344,317,000	1,344,317,000	
1 議 会 費	202,000	0	1,262,544	453,994	39,600	1,958,138
2 総 務 費	18,831,428	13,992,903	30,245,180	19,396,798	15,705,812	98,172,121
3 衛 生 費	6,138,854	10,373,064	6,876,888	5,358,938	804,131	29,551,875
4 消 防 費	274,653,099	191,950,729	288,627,667	219,331,001	73,878,016	1,048,440,512
5 公 債 費	0	67,858,066	0	67,830,154	0	135,688,220
6 予 備 費	0	0	0	0	0	0
合 計	299,825,381	284,174,762	327,012,279	312,370,885	90,427,559	1,313,810,866
歳出累計(B)	299,825,381	584,000,143	911,012,422	1,223,383,307	1,313,810,866	
予 算 執 行 割 合 (%)	22.2	43.2	67.3	91.0	97.7	
公金現在高 (A) - (B)	345,722,719	383,879,077	382,681,124	129,297,781	30,753,827	

Ⅳ 性質別歳出内訳表

(単位:千円・%)

区 分	令和4年度				令和3年度			
	決 算 額	構 成 比 (%)	前年比較 増 減 額	前年対比 (%)	決 算 額	構 成 比 (%)	前年比較 増 減 額	前年対比 (%)
義務的経費	1,112,917	84.7	60,026	105.7	1,052,891	85.1	67,644	106.9
人 件 費	967,444	73.6	34,088	103.7	933,356	75.4	△27,152	97.2
扶 助 費	9,785	0.8	210	102.2	9,575	0.8	285	103.1
公 債 費	135,688	10.3	25,728	123.4	109,960	8.9	94,511	711.8
投資的経費	44,317	3.4	△4,073	91.6	48,390	3.9	△122,220	28.4
普通建設 事業費	44,317	3.4	△4,073	91.6	48,390	3.9	△122,220	28.4
うち補助 事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
うち単独 事業費	44,317	3.4	△4,073	91.6	48,390	3.9	△122,220	28.4
その他の経費	156,577	11.9	20,399	115.0	136,178	11.0	△19,404	87.5
物 件 費	133,469	10.2	25,214	123.3	108,255	8.7	△3,248	97.1
補助費等	10,593	0.8	△5,983	63.9	16,576	1.3	5,960	156.1
積 立 金	1	0.0	0	100.0	1	0.0	△2	33.3
維 持 補 修 費	12,514	0.9	1,168	110.3	11,346	0.9	△22,114	33.9
合 計	1,313,811	100.0	76,352	106.2	1,237,459	100.0	△73,980	94.4

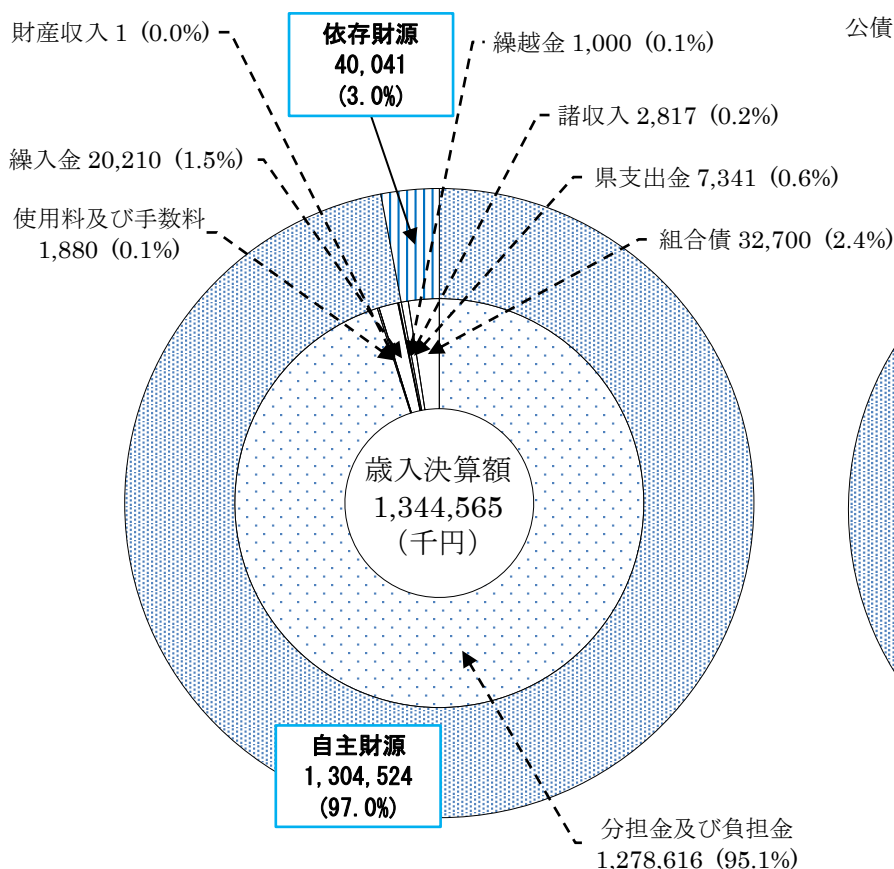
Ⅴ 地方債現在高調

(単位:千円)

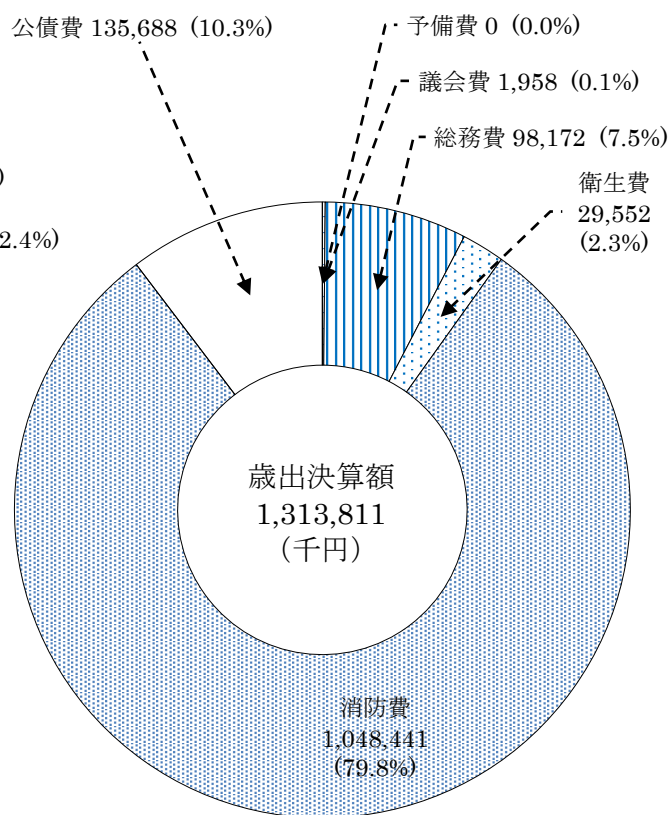
区 分	令和3年度末 現 在 高	令和4年度 借 入 額	令和4年度 償 還 元 金 額	差引現在高
組 合 債	707,546	32,700	135,602	604,644
合 計	707,546	32,700	135,602	604,644

令和4年度 亘理地区行政事務組合一般会計決算額

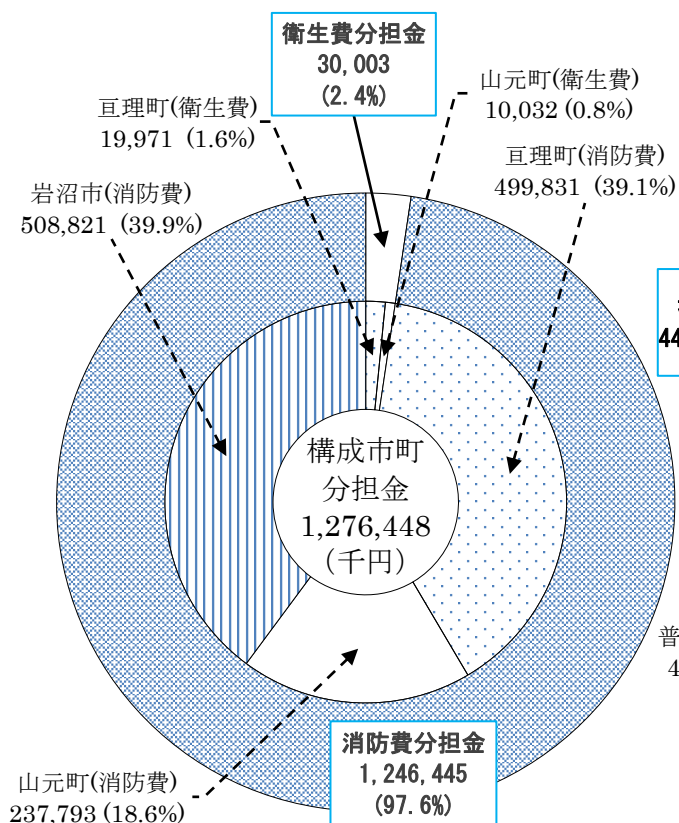
【歳入】



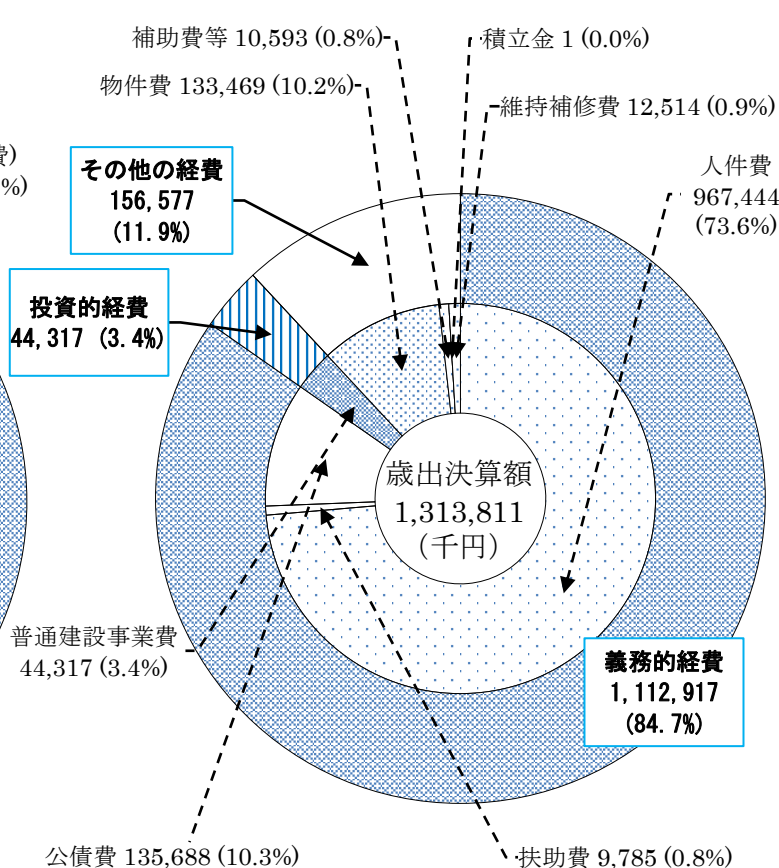
【歳出】



【分担金の割合】



【性質別決算内訳】



VI 一般会計の状況

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況													
1 款 議会費 1,958 1 議会の状況 1,958	(1) 定例会及び臨時会													
	議会の開催状況				議会審議状況									
					管理者提出					議員提出				
	区分	招集開催	会期延日数	会議延日数	審議件数	原案可決	修正可決	否決	撤回	審議件数	原案可決	修正可決	否決	撤回
	定例	2	2	2	14	14				1	1			
	臨時	2	2	2	3	3								
	(2) 調査及び活動研修													
	先進地視察調査（10月12日～10月14日）													
	【調査地】東京都八王子市（日本機械工業(株)八王子工場） 静岡県熱海市（熱海市役所） 栃木県宇都宮市（栃木県防災館） 茨城県水戸市（いばらき消防指令センター）													
	【事項】八王子市：消防車両の製造 熱海市：土石流災害被害地区の災害対応 宇都宮市：防災教育・研修施設 水戸市：消防指令センター共同運用先進地													
2 款 総務費 98,172 1 総務管理 の状況 98,005	(1) 総務事業													
	ア 職員の健康診査													
	職員の健康の保持増進を図った。													
	健診名		受診者数		実施日					備考				
	定期健診 (B型・C型肝炎抗体検査)		104人 (102人)		8月9, 10日 9月5, 6日					共済組合 助成事業				
	人間ドック (B型・C型肝炎抗体検査)		30人 (19人)		6月3, 6, 7, 8日 6月13, 14日									
脳ドック		9人		6月27, 28, 29, 30日 7月1, 4, 5, 6, 14日										

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																					
	イ 職員研修 質の高い行政サービスを提供するため、職員育成を目的とし各種研修を23人に受講させた。 <table><tr><th>研修名</th><th>受講者数</th><th>場 所</th><th>備考</th></tr><tr><td>条例・規則作成研修</td><td>4人</td><td>県市町村職員研修所</td><td></td></tr><tr><td>一般職員研修Ⅱ</td><td>2人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>管理者研修Ⅰ</td><td>2人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>監督者研修Ⅰ</td><td>2人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>契約事務研修</td><td>1人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>マスメディア対応コース</td><td>2人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>危機管理コース</td><td>2人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>コーチングスキル講座</td><td>1人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>ハラスメント防止指導研修</td><td>2人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>接遇研修指導者養成研修</td><td>2人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>ＯＪＴ指導者養成研修</td><td>2人</td><td>〃</td><td></td></tr><tr><td>消防財政実務研修会</td><td rowspan="2">1人</td><td rowspan="2">仙台国際センター</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>法制・広報研修会</td></tr></table> ウ 組合ホームページ 組合議会、行財政の状況並びに消防及び葬祭業務に関する情報等について、インターネットの持つ広域性、即時性及び双方向性を最大限に活用し、組合の最新情報を積極的に提供した。 エ 職員不祥事防止研修会 令和4年10月1日からアルコールチェックが義務化となり、アルコールチェックの必要性、基準値以上が検知された場合の対応等について研修を実施した。 講 師：あぶくま消防本部 小野次長 亘理消防署 高橋署長 開催日程：令和4年10月20日、21日 9時00分から10時00分まで オ ICT環境整備業務委託料 亘理地区行政事務組合が運用する3拠点（岩沼消防署、亘理消防署、山元分署）にWi-Fi環境を構築し、IT機器運用の基盤環境を整備した。 カ UTM機器導入業務委託料 ICT環境整備業務委託事業において構築した3拠点（岩沼消防署、亘理消防署、山元分署）のWi-Fi環境にUTM（統合型脅威管理）を設置し、セキュリティ強化を図った。	研修名	受講者数	場 所	備考	条例・規則作成研修	4人	県市町村職員研修所		一般職員研修Ⅱ	2人	〃		管理者研修Ⅰ	2人	〃		監督者研修Ⅰ	2人	〃		契約事務研修	1人	〃		マスメディア対応コース	2人	〃		危機管理コース	2人	〃		コーチングスキル講座	1人	〃		ハラスメント防止指導研修	2人	〃		接遇研修指導者養成研修	2人	〃		ＯＪＴ指導者養成研修	2人	〃		消防財政実務研修会	1人	仙台国際センター		法制・広報研修会
研修名	受講者数	場 所	備考																																																			
条例・規則作成研修	4人	県市町村職員研修所																																																				
一般職員研修Ⅱ	2人	〃																																																				
管理者研修Ⅰ	2人	〃																																																				
監督者研修Ⅰ	2人	〃																																																				
契約事務研修	1人	〃																																																				
マスメディア対応コース	2人	〃																																																				
危機管理コース	2人	〃																																																				
コーチングスキル講座	1人	〃																																																				
ハラスメント防止指導研修	2人	〃																																																				
接遇研修指導者養成研修	2人	〃																																																				
ＯＪＴ指導者養成研修	2人	〃																																																				
消防財政実務研修会	1人	仙台国際センター																																																				
法制・広報研修会																																																						

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																		
	キ 公共施設等総合管理計画策定業務委託料 最適な公共サービスと財政運営を両立させるため、公共施設マネジメントの基本方針となる「亘理地区行政事務組合公共施設等総合管理計画」を策定した。 ク 岩沼消防署女性仮眠室改修工事 女性消防職員数の増員に対応するため、岩沼消防署女性仮眠室を改修した。 (2) 主な支出 (単位:円) <table> <tr><td>U T M機器導入業務委託料</td><td>3, 630, 000</td></tr> <tr><td>I C T環境整備業務委託料</td><td>3, 498, 000</td></tr> <tr><td>公共施設等総合管理計画策定業務委託料</td><td>3, 080, 000</td></tr> <tr><td>給与計算事務委託料</td><td>2, 380, 620</td></tr> <tr><td>岩沼消防署庁舎清掃業務委託料</td><td>1, 955, 784</td></tr> <tr><td>職員健康診断委託料</td><td>1, 898, 391</td></tr> <tr><td>岩沼消防署女性仮眠室改修工事</td><td>1, 846, 900</td></tr> <tr><td>財務書類作成支援業務委託料</td><td>1, 650, 000</td></tr> <tr><td>岩沼消防署エアコン保守点検業務委託料</td><td>1, 320, 000</td></tr> <tr><td>複合機賃借料(亘理)</td><td>1, 221, 056</td></tr> <tr><td>岩沼消防署災害復旧工事</td><td>1, 100, 000</td></tr> <tr><td>I C T端末等一式賃貸料</td><td>599, 940</td></tr> </table> 広域運営費 (単位:円) <table> <tr><td>ファイルサーバーシステム賃借料</td><td>2, 721, 600</td></tr> <tr><td>署所間NWシステム・電話関連システム賃借料</td><td>2, 211, 876</td></tr> <tr><td>勤怠管理システム賃借料</td><td>1, 422, 960</td></tr> <tr><td>複合機賃借料(岩沼)</td><td>1, 060, 128</td></tr> <tr><td>財務会計システム使用料</td><td>1, 003, 200</td></tr> </table>	U T M機器導入業務委託料	3, 630, 000	I C T環境整備業務委託料	3, 498, 000	公共施設等総合管理計画策定業務委託料	3, 080, 000	給与計算事務委託料	2, 380, 620	岩沼消防署庁舎清掃業務委託料	1, 955, 784	職員健康診断委託料	1, 898, 391	岩沼消防署女性仮眠室改修工事	1, 846, 900	財務書類作成支援業務委託料	1, 650, 000	岩沼消防署エアコン保守点検業務委託料	1, 320, 000	複合機賃借料(亘理)	1, 221, 056	岩沼消防署災害復旧工事	1, 100, 000	I C T端末等一式賃貸料	599, 940	ファイルサーバーシステム賃借料	2, 721, 600	署所間NWシステム・電話関連システム賃借料	2, 211, 876	勤怠管理システム賃借料	1, 422, 960	複合機賃借料(岩沼)	1, 060, 128	財務会計システム使用料	1, 003, 200
U T M機器導入業務委託料	3, 630, 000																																		
I C T環境整備業務委託料	3, 498, 000																																		
公共施設等総合管理計画策定業務委託料	3, 080, 000																																		
給与計算事務委託料	2, 380, 620																																		
岩沼消防署庁舎清掃業務委託料	1, 955, 784																																		
職員健康診断委託料	1, 898, 391																																		
岩沼消防署女性仮眠室改修工事	1, 846, 900																																		
財務書類作成支援業務委託料	1, 650, 000																																		
岩沼消防署エアコン保守点検業務委託料	1, 320, 000																																		
複合機賃借料(亘理)	1, 221, 056																																		
岩沼消防署災害復旧工事	1, 100, 000																																		
I C T端末等一式賃貸料	599, 940																																		
ファイルサーバーシステム賃借料	2, 721, 600																																		
署所間NWシステム・電話関連システム賃借料	2, 211, 876																																		
勤怠管理システム賃借料	1, 422, 960																																		
複合機賃借料(岩沼)	1, 060, 128																																		
財務会計システム使用料	1, 003, 200																																		

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況												
2 監査委員 の状況 167	(1) 監査の状況 最少の経費で最大の効果を上げるように事務・事業が執り行われているか、公正な視点で監査及び審査を行った。 ア 令和3年度互理地区行政事務組合一般会計決算の審査 イ 令和4年度一般会計歳入歳出予算に関する事務の執行及び事業の監査 <table><tr><td>区 分</td><td>一 般 監 査</td><td>決 算 審 査</td><td>そ の 他</td></tr><tr><td>回 数</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>所要日数</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr></table> (2) 調査及び活動研修 先進地視察調査（10月12日～10月14日） 【調査地】 東京都八王子市（日本機械工業㈱八王子工場） 静岡県熱海市（熱海市役所） 栃木県宇都宮市（栃木県防災館） 茨城県水戸市（いばらき消防指令センター） 【事 項】 八王子市：消防車両の製造 熱 海 市：土石流災害被害地区の災害対応 宇都宮市：防災教育・研修施設 水 戸 市：消防指令センター共同運用先進地	区 分	一 般 監 査	決 算 審 査	そ の 他	回 数	2	1	1	所要日数	2	1	3
区 分	一 般 監 査	決 算 審 査	そ の 他										
回 数	2	1	1										
所要日数	2	1	3										

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況			
3款 衛生費 29,552 1 葬祭場 の状況 29,552	(1) 葬祭場の管理状況			
	遺族及び利用者が心静かに故人の追悼ができるよう、環境及び設備の整備等を行い施設保全に努めた。また、年次計画に基づき3号炉維持修繕及び再燃焼炉等改修工事を実施し、施設整備に努めた。			
	葬祭場利用状況			(単位:件)
	区 分	R4年度	R3年度	増 減
	亘 理 町	434	397	37
	山 元 町	207	194	13
	他 の 市 町	38	50	△12
	合 計	679	641	38
	(2) 主な支出			
				(単位:円)
3号炉維持修繕及び再燃焼炉等改修工事			4,455,000	
燃料費(重油:火葬燃料)			4,263,270	

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																				
4款 消防費 1,048,441 1 消防事務 の状況 1,048,441	(1) 消防職員の研修状況 ア 宮城県消防学校入校 消防業務に必要な知識を段階的に習得するための教育を受講した。 <table><tr><th colspan="2">教育訓練種別</th><th>入校者数</th></tr><tr><td colspan="2">初任総合教育(総合第26期)</td><td>5人</td></tr><tr><td>幹部教育</td><td>初級幹部科(第36期)</td><td>1人</td></tr><tr><td rowspan="2">専科教育</td><td>特殊災害科(第7期)</td><td>1人</td></tr><tr><td>危険物科(第7期)</td><td>1人</td></tr><tr><td rowspan="3">特別教育</td><td>指揮隊長教育講習</td><td>1人</td></tr><tr><td>救助隊員再教育講習</td><td>2人</td></tr><tr><td>女性消防吏員特別講習</td><td>1人</td></tr></table> イ 消防大学校入校 (ア) 幹部科 消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させるとともに、上級幹部としての資質を向上させるための教育を受講した。 (イ) 警防科 警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させるための教育を受講した。 <table><tr><th colspan="2">教育課程</th><th>入校者数</th></tr><tr><td>総合教育</td><td>幹部科(第69期)</td><td>1人</td></tr><tr><td>専科教育</td><td>警防科(第110期)</td><td>1人</td></tr></table> ウ 救急救命士研修 救急救命士は、常に一定水準以上の高度な救急技術を求められている。今年度はコロナ禍により大半の研修は中止されたが、新たに処置拡大として認可されたビデオ喉頭鏡の研修を受講する等、より高水準かつ新しい技術の習得に努めた。(7回、7名) エ 救命救急研修所入所 国家試験資格である救急救命士を養成するため、救急救命東京研修所にて研修を受講させ、資格取得を成した。 <table><tr><th>研修機関</th><th>教育訓練種別</th><th>入校者数</th></tr><tr><td>救急救命東京研修所</td><td>救急救命士新規養成課程(後期)</td><td>1人</td></tr></table>	教育訓練種別		入校者数	初任総合教育(総合第26期)		5人	幹部教育	初級幹部科(第36期)	1人	専科教育	特殊災害科(第7期)	1人	危険物科(第7期)	1人	特別教育	指揮隊長教育講習	1人	救助隊員再教育講習	2人	女性消防吏員特別講習	1人	教育課程		入校者数	総合教育	幹部科(第69期)	1人	専科教育	警防科(第110期)	1人	研修機関	教育訓練種別	入校者数	救急救命東京研修所	救急救命士新規養成課程(後期)	1人
教育訓練種別		入校者数																																			
初任総合教育(総合第26期)		5人																																			
幹部教育	初級幹部科(第36期)	1人																																			
専科教育	特殊災害科(第7期)	1人																																			
	危険物科(第7期)	1人																																			
特別教育	指揮隊長教育講習	1人																																			
	救助隊員再教育講習	2人																																			
	女性消防吏員特別講習	1人																																			
教育課程		入校者数																																			
総合教育	幹部科(第69期)	1人																																			
専科教育	警防科(第110期)	1人																																			
研修機関	教育訓練種別	入校者数																																			
救急救命東京研修所	救急救命士新規養成課程(後期)	1人																																			

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																												
	オ 救急救命士の病院研修 住民への質の高い病院前救護を提供するため、救急救命士として必要な救急医療の知識、技術の維持・向上を目的に指定医療機関で研修を受けた。 <table border="1" data-bbox="544 443 1243 723"> <tr> <th>指定医療機関</th><th>人数</th></tr> <tr> <td>総合南東北病院</td><td>8人</td></tr> <tr> <td>仙台市救急ステーション</td><td>4人</td></tr> <tr> <td>イムス明理会仙台総合病院</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>東北医科薬科大学病院</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>宮城病院</td><td>2人</td></tr> </table> カ 緊急自動車ドライバー研修 消防車・救急車の緊急運転従事者に必要な知識のほか、交通危険学の観点から安全補助要領等の技能について修得させるとともに、指導者の育成と指導要領の確立及び運転者の知識・技能向上を目的に、茨城県安全運転中央研修所で受講した。 (4日間、2名) (2) 消防職員の資格取得状況 消防業務に必要とされる、各種資格の取得に努めた。 <table border="1" data-bbox="541 1155 1367 1529"> <tr> <th>資格種別</th><th>取得者数</th></tr> <tr> <td>救急救命士</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>二級小型船舶操縦士</td><td>2人</td></tr> <tr> <td>小型移動式クレーン運転技能講習</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>玉掛け技能講習</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>酸欠・硫化水素危険作業主任者技能講習</td><td>1人</td></tr> <tr> <td>大型自動車運転免許</td><td>3人</td></tr> <tr> <td>予防技術資格者</td><td>2人</td></tr> </table> (3) 消防職員の訓練状況 ア 身近な災害対応への訓練 消防を取り巻く社会情勢の変化に伴い、火災はもとより、交通事故、水難事故、特殊災害等の災害の形態も複雑多様化し、従来の消防活動に加えて、新たな知識、資機材及び消防戦略が必要となっている。これらの災害を想定し、小隊単位、署単位で警防・救助・救急訓練を計画的に実施した。 イ 大規模災害に備えた訓練 あぶくま消防本部の非常災害消防訓練を実施し、災害対応力の維持に努めた。また、緊急消防援助隊の強化、高度化を目的に全国や地方ブロックの合同訓練へ積極的に参加して技術の向上を図った。	指定医療機関	人数	総合南東北病院	8人	仙台市救急ステーション	4人	イムス明理会仙台総合病院	2人	東北医科薬科大学病院	2人	宮城病院	2人	資格種別	取得者数	救急救命士	1人	二級小型船舶操縦士	2人	小型移動式クレーン運転技能講習	1人	玉掛け技能講習	1人	酸欠・硫化水素危険作業主任者技能講習	1人	大型自動車運転免許	3人	予防技術資格者	2人
指定医療機関	人数																												
総合南東北病院	8人																												
仙台市救急ステーション	4人																												
イムス明理会仙台総合病院	2人																												
東北医科薬科大学病院	2人																												
宮城病院	2人																												
資格種別	取得者数																												
救急救命士	1人																												
二級小型船舶操縦士	2人																												
小型移動式クレーン運転技能講習	1人																												
玉掛け技能講習	1人																												
酸欠・硫化水素危険作業主任者技能講習	1人																												
大型自動車運転免許	3人																												
予防技術資格者	2人																												

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																			
	名 称	月 日	参加者数	実施主体																																
	水防技術講習会	6 月 18 日	3 人	名取川・阿武隈川下流洪水 予報・水防・災害情報連絡会																																
	県消防協会名取・亘理 地区支部水防訓練	6 月 26 日	12 人	県消防協会 名取・亘理地区支部																																
	岩沼市総合防災訓練	7 月 3 日	参加なし	岩沼市																																
	県消防救助技術指導会	7 月 3 日	12 人	県消防長会																																
	東北地区支部 救助技術指導会	7 月 27 日	5 人	東北地区支部 消防長会																																
	宮城県9.1防災訓練	中止	-	宮城県・登米市																																
	亘理町総合防災訓練	9 月 4 日	参加なし	亘理町																																
	緊急消防援助隊北海道 東北ブロック合同訓練	10 月 7, 8 日	4 人	青森県・青森市																																
	山元町総合防災訓練	10 月 23 日	8 人	山元町																																
	全国緊急消防援助隊 合同訓練	11 月 12, 13 日	2 人	静岡県・富士宮市																																
	非常災害消防訓練	2 月 15 日	100 人	あぶくま消防本部																																
(4) 消防の諸活動 ア 警防活動の状況 (ア) 火災出動 火災出動件数は41件で、前年度より14件増加し、火災による損害額は、合計81,969千円であった。 <table border="1" data-bbox="454 1301 1442 1630"> <thead> <tr> <th rowspan="2">火災の種別</th><th colspan="2">出動件数</th><th rowspan="2">増減</th><th rowspan="2">R4年度の主な出火原因</th></tr> <tr> <th>R4年度</th><th>R3年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物火災</td><td>18</td><td>16</td><td>2</td><td>こんろ、たばこ、ストーブ</td></tr> <tr> <td>車両火災</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>その他</td></tr> <tr> <td>林野火災</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td><td>放火の疑い</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>18</td><td>9</td><td>9</td><td>放火、放火の疑い</td></tr> <tr> <td>計</td><td>41</td><td>27</td><td>14</td><td></td></tr> </tbody> </table> (イ) 警戒出動 警戒出動件数は33件で、前年度より10件減少した。 主に交通事故や一般家庭における危険物流出事故が減少した。 (ウ) 偵察出動 偵察出動件数は115件で、前年度より10件減少した。 広報活動などにより、無届焼却行為に対して注意喚起を行ったことから、火災偵察件数が減少した。					火災の種別	出動件数		増減	R4年度の主な出火原因	R4年度	R3年度	建物火災	18	16	2	こんろ、たばこ、ストーブ	車両火災	3	2	1	その他	林野火災	2	0	2	放火の疑い	その他	18	9	9	放火、放火の疑い	計	41	27	14	
火災の種別	出動件数		増減	R4年度の主な出火原因																																
	R4年度	R3年度																																		
建物火災	18	16	2	こんろ、たばこ、ストーブ																																
車両火災	3	2	1	その他																																
林野火災	2	0	2	放火の疑い																																
その他	18	9	9	放火、放火の疑い																																
計	41	27	14																																	

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																																																																																									
	(エ) 地水利調査 地水利調査は、消防活動に重要な意義を持つものであることから、毎月計画的に管内の地理、消火栓、防火水槽、河川、池、沼等を調査し、現状把握に努めた。 イ 救急・救助活動の状況 (ア) 救急出動 救急出動件数は4,697件で、前年度より330件増加した。 ① 救急出動及び搬送人員 <table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">R4年度</th><th colspan="2">R3年度</th><th colspan="2">増 減</th></tr><tr><th>件 数</th><th>人 数</th><th>件 数</th><th>人 数</th><th>件 数</th><th>人 数</th></tr><tr><td>岩 沼 市</td><td>2,325</td><td>2,072</td><td>2,156</td><td>2,000</td><td>169</td><td>72</td></tr><tr><td>亘 理 町</td><td>1,657</td><td>1,448</td><td>1,501</td><td>1,325</td><td>156</td><td>123</td></tr><tr><td>山 元 町</td><td>709</td><td>647</td><td>703</td><td>641</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>管 外</td><td>6</td><td>4</td><td>7</td><td>5</td><td>△1</td><td>△1</td></tr><tr><td>計</td><td>4,697</td><td>4,171</td><td>4,367</td><td>3,971</td><td>330</td><td>200</td></tr></table> ② 事故の種別 (単位:件) <table><tr><th>区 分</th><th>R4年度</th><th>R3年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>急 病</td><td>3,126</td><td>2,753</td><td>373</td></tr><tr><td>一般負傷</td><td>578</td><td>565</td><td>13</td></tr><tr><td>転 院</td><td>610</td><td>679</td><td>△69</td></tr><tr><td>交通事故</td><td>228</td><td>229</td><td>△1</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>155</td><td>141</td><td>14</td></tr><tr><td>計</td><td>4,697</td><td>4,367</td><td>330</td></tr></table> ③ 地域別医療機関搬送人員 (単位:人) <table><tr><th colspan="2">区 分</th><th>R4年度</th><th>R3年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td rowspan="3">管 内</td><td>岩 沼 市</td><td>1,397</td><td>1,638</td><td>△241</td></tr><tr><td>亘理・山元町</td><td>263</td><td>224</td><td>39</td></tr><tr><td>小 計</td><td>1,660</td><td>1,862</td><td>△202</td></tr><tr><td rowspan="4">管 外</td><td>仙 台 市</td><td>2,083</td><td>1,776</td><td>307</td></tr><tr><td>名 取 市</td><td>111</td><td>72</td><td>39</td></tr><tr><td>そ の 他</td><td>317</td><td>261</td><td>56</td></tr><tr><td>小 計</td><td>2,511</td><td>2,109</td><td>402</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>4,171</td><td>3,971</td><td>200</td></tr></table>						区 分	R4年度		R3年度		増 減		件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	岩 沼 市	2,325	2,072	2,156	2,000	169	72	亘 理 町	1,657	1,448	1,501	1,325	156	123	山 元 町	709	647	703	641	6	6	管 外	6	4	7	5	△1	△1	計	4,697	4,171	4,367	3,971	330	200	区 分	R4年度	R3年度	増 減	急 病	3,126	2,753	373	一般負傷	578	565	13	転 院	610	679	△69	交通事故	228	229	△1	そ の 他	155	141	14	計	4,697	4,367	330	区 分		R4年度	R3年度	増 減	管 内	岩 沼 市	1,397	1,638	△241	亘理・山元町	263	224	39	小 計	1,660	1,862	△202	管 外	仙 台 市	2,083	1,776	307	名 取 市	111	72	39	そ の 他	317	261	56	小 計	2,511	2,109	402	合 計		4,171	3,971	200
区 分	R4年度		R3年度		増 減																																																																																																																					
	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数																																																																																																																				
岩 沼 市	2,325	2,072	2,156	2,000	169	72																																																																																																																				
亘 理 町	1,657	1,448	1,501	1,325	156	123																																																																																																																				
山 元 町	709	647	703	641	6	6																																																																																																																				
管 外	6	4	7	5	△1	△1																																																																																																																				
計	4,697	4,171	4,367	3,971	330	200																																																																																																																				
区 分	R4年度	R3年度	増 減																																																																																																																							
急 病	3,126	2,753	373																																																																																																																							
一般負傷	578	565	13																																																																																																																							
転 院	610	679	△69																																																																																																																							
交通事故	228	229	△1																																																																																																																							
そ の 他	155	141	14																																																																																																																							
計	4,697	4,367	330																																																																																																																							
区 分		R4年度	R3年度	増 減																																																																																																																						
管 内	岩 沼 市	1,397	1,638	△241																																																																																																																						
	亘理・山元町	263	224	39																																																																																																																						
	小 計	1,660	1,862	△202																																																																																																																						
管 外	仙 台 市	2,083	1,776	307																																																																																																																						
	名 取 市	111	72	39																																																																																																																						
	そ の 他	317	261	56																																																																																																																						
	小 計	2,511	2,109	402																																																																																																																						
合 計		4,171	3,971	200																																																																																																																						

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																																																																																										
	(イ) 救助出動 救助出動件数は48件で、前年度より8件増加した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">R4年度</th><th colspan="2">R3年度</th><th colspan="2">増 減</th></tr> <tr> <th>件 数</th><th>人 数</th><th>件 数</th><th>人 数</th><th>件 数</th><th>人 数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火 災</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td>交通事故</td><td>18</td><td>8</td><td>17</td><td>8</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr> <td>水難事故</td><td>6</td><td>6</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr> <tr> <td>風水害等自然災害事故</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>機 会 による 事 故</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>建 物 等 による 事 故</td><td>14</td><td>10</td><td>11</td><td>8</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr> <td>ガス及び酸欠事故</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>△1</td><td>△1</td></tr> <tr> <td>そ の 他</td><td>7</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr> <td>計</td><td>48</td><td>32</td><td>40</td><td>26</td><td>8</td><td>6</td></tr> </tbody> </table> ウ 応急手当等の指導 前年度はコロナ禍により開催を自粛した期間があったが、令和4年度は感染予防対策を徹底して開催したため、受講者数は増加した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">R4年度</th><th colspan="2">R3年度</th><th colspan="2">増 減</th></tr> <tr> <th>回数</th><th>受講者数</th><th>回数</th><th>受講者数</th><th>回数</th><th>受講者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通救命講習会</td><td>51</td><td>566</td><td>30</td><td>343</td><td>21</td><td>223</td></tr> <tr> <td>上級救命講習会</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>一般救命講習会</td><td>41</td><td>973</td><td>44</td><td>1,002</td><td>△3</td><td>△29</td></tr> <tr> <td>計</td><td>92</td><td>1,539</td><td>74</td><td>1,345</td><td>18</td><td>194</td></tr> </tbody> </table> エ ドクターヘリの運用状況 宮城県ドクターヘリでの救急搬送件数は、15件で、福島県ドクターヘリでも1件救急搬送をした。 急病、交通事故等で生命の危険が切迫している傷病者に救急の専門医師及び看護師が救急現場で早期治療を開始できることから救急救命に大きく寄与している。						区 分	R4年度		R3年度		増 減		件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数	火 災	2	1	0	0	2	1	交通事故	18	8	17	8	1	0	水難事故	6	6	4	2	2	4	風水害等自然災害事故	0	0	0	0	0	0	機 会 による 事 故	1	1	1	1	0	0	建 物 等 による 事 故	14	10	11	8	3	2	ガス及び酸欠事故	0	0	1	1	△1	△1	そ の 他	7	6	6	6	1	0	計	48	32	40	26	8	6	区 分	R4年度		R3年度		増 減		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	普通救命講習会	51	566	30	343	21	223	上級救命講習会	0	0	0	0	0	0	一般救命講習会	41	973	44	1,002	△3	△29	計	92	1,539	74	1,345	18	194
区 分	R4年度		R3年度		増 減																																																																																																																						
	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数																																																																																																																					
火 災	2	1	0	0	2	1																																																																																																																					
交通事故	18	8	17	8	1	0																																																																																																																					
水難事故	6	6	4	2	2	4																																																																																																																					
風水害等自然災害事故	0	0	0	0	0	0																																																																																																																					
機 会 による 事 故	1	1	1	1	0	0																																																																																																																					
建 物 等 による 事 故	14	10	11	8	3	2																																																																																																																					
ガス及び酸欠事故	0	0	1	1	△1	△1																																																																																																																					
そ の 他	7	6	6	6	1	0																																																																																																																					
計	48	32	40	26	8	6																																																																																																																					
区 分	R4年度		R3年度		増 減																																																																																																																						
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数																																																																																																																					
普通救命講習会	51	566	30	343	21	223																																																																																																																					
上級救命講習会	0	0	0	0	0	0																																																																																																																					
一般救命講習会	41	973	44	1,002	△3	△29																																																																																																																					
計	92	1,539	74	1,345	18	194																																																																																																																					

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																			
	(5) 予防活動の状況 平成30年4月1日より違反対象物の公表制度が開始されたことに伴い、違反対象物の立入検査を重点的に実施し、是正に努めた。また、住宅用火災警報器の設置、維持管理、更新時期等について、各市町広報紙、ホームページへの掲載、啓発用チラシを配布する等により普及促進活動に取り組んだ。 ア 防火対象物等の立入検査状況 学校・工場・病院等の防火対象物及び危険物施設を立入検査し、災害発生防止の指導を行った。新型コロナウイルス感染症が一時減少したため、件数が増加した。 (単位:件) <table><tr><th rowspan="2">区 分</th><th rowspan="2">R4年度 施設総数</th><th colspan="3">立入検査実施件数</th></tr><tr><th>R4年度</th><th>R3年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>防火対象物</td><td>2,507</td><td>535</td><td>277</td><td>258</td></tr><tr><td>危険物施設</td><td>366</td><td>159</td><td>103</td><td>56</td></tr><tr><td>計</td><td>2,873</td><td>694</td><td>380</td><td>314</td></tr></table> イ 建築確認同意事務の状況 消防法第7条による建築確認同意について、消防法令に基づき審査を行い、適正な処理を行った。 (単位:件) <table><tr><th>区 分</th><th>R4年度</th><th>R3年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>建築確認同意</td><td>112</td><td>132</td><td>△20</td></tr></table> ウ 危険物取扱事務の状況 危険物の規制に関する関係法令等の規定に基づき、書類審査及び施設検査を行った。 (単位:件) <table><tr><th>区 分</th><th>R4年度</th><th>R3年度</th><th>増 減</th></tr><tr><td>設置及び変更許可</td><td>17</td><td>21</td><td>△4</td></tr><tr><td>完成検査及び水張検査</td><td>17</td><td>25</td><td>△8</td></tr><tr><td>仮使用承認</td><td>10</td><td>16</td><td>△6</td></tr><tr><td>計</td><td>44</td><td>62</td><td>△18</td></tr></table> エ 予防広報活動 火災予防運動期間中に婦人防火クラブ員による巡回広報を実施、また、防火チラシの配布等の街頭広報についてはコロナ禍により中止した。	区 分	R4年度 施設総数	立入検査実施件数			R4年度	R3年度	増 減	防火対象物	2,507	535	277	258	危険物施設	366	159	103	56	計	2,873	694	380	314	区 分	R4年度	R3年度	増 減	建築確認同意	112	132	△20	区 分	R4年度	R3年度	増 減	設置及び変更許可	17	21	△4	完成検査及び水張検査	17	25	△8	仮使用承認	10	16	△6	計	44	62	△18
区 分	R4年度 施設総数			立入検査実施件数																																																
		R4年度	R3年度	増 減																																																
防火対象物	2,507	535	277	258																																																
危険物施設	366	159	103	56																																																
計	2,873	694	380	314																																																
区 分	R4年度	R3年度	増 減																																																	
建築確認同意	112	132	△20																																																	
区 分	R4年度	R3年度	増 減																																																	
設置及び変更許可	17	21	△4																																																	
完成検査及び水張検査	17	25	△8																																																	
仮使用承認	10	16	△6																																																	
計	44	62	△18																																																	

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																																																													
	オ 各地区防災安全協会事務局 岩沼市及び亶理郡内の危険物取扱事業所、防火管理者を有する事業所並びに高圧ガスを取扱う事業所を会員とする組織の事務を行っている。 年間事業として、防火講習会、視察研修、救命講習会、防火広報活動（防火キャラバン及びポスター配布）、防災情報の提供等を行った。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">R4年度</th><th colspan="2">R3年度</th><th colspan="2">増 減</th></tr> <tr> <th colspan="2">事業所数</th><th colspan="2">事業所数</th><th colspan="2">事業所数</th></tr> <tr> <td>防災安全協会</td><td colspan="2">380</td><td colspan="2">389</td><td colspan="2">△9</td></tr> </table> カ 各地区婦人防火クラブ事務局 岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会、亶理町婦人防火クラブ連合会及び山元町婦人防火クラブ連合会の事務を行っている。 各地区婦人防火クラブでは、各婦人防火クラブの健全な育成、防火防災思想の普及を進め、安全で住みよい地域づくりを目指し活動を行った。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">R4年度</th><th colspan="2">R3年度</th><th colspan="2">増 減</th></tr> <tr> <th>団体数</th><th>会員数</th><th>団体数</th><th>会員数</th><th>団体数</th><th>会員数</th></tr> <tr> <td>地区防火クラブ</td><td>73</td><td>11,650</td><td>81</td><td>13,403</td><td>△8</td><td>△1,753</td></tr> </table> キ 幼年消防クラブの育成指導 管内の幼年消防クラブ14団体に対して、防火講話、防火映画の上映、避難訓練等を行い、防火意識の高揚を図りクラブ員の育成指導に努めた。 (6) 消防団への訓練指導 地域の暮らしの安全を守るうえで、非常に重要な役割を果たしている消防団の組織力の維持・向上に資するよう、訓練指導を行った。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区 分</th><th colspan="2">岩沼市消防団</th><th colspan="2">亶理町消防団</th><th colspan="2">山元町消防団</th></tr> <tr> <th>回数</th><th>受講者数</th><th>回数</th><th>受講者数</th><th>回数</th><th>受講者数</th></tr> <tr> <td>小型ポンプ操法</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>自動車ポンプ操法</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>初任団員訓練 (名取・亶理地区支部)</td><td>1</td><td>14</td><td>1</td><td>11</td><td>1</td><td>14</td></tr> <tr> <td>礼式訓練(幹部)</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>70</td><td>1</td><td>48</td></tr> <tr> <td>計</td><td>1</td><td>14</td><td>2</td><td>81</td><td>2</td><td>62</td></tr> </table>						区 分	R4年度		R3年度		増 減		事業所数		事業所数		事業所数		防災安全協会	380		389		△9		区 分	R4年度		R3年度		増 減		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	地区防火クラブ	73	11,650	81	13,403	△8	△1,753	区 分	岩沼市消防団		亶理町消防団		山元町消防団		回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	小型ポンプ操法	0	0	0	0	0	0	自動車ポンプ操法	0	0	0	0	0	0	初任団員訓練 (名取・亶理地区支部)	1	14	1	11	1	14	礼式訓練(幹部)	0	0	1	70	1	48	計	1	14	2	81	2	62
区 分	R4年度		R3年度		増 減																																																																																									
	事業所数		事業所数		事業所数																																																																																									
防災安全協会	380		389		△9																																																																																									
区 分	R4年度		R3年度		増 減																																																																																									
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数																																																																																								
地区防火クラブ	73	11,650	81	13,403	△8	△1,753																																																																																								
区 分	岩沼市消防団		亶理町消防団		山元町消防団																																																																																									
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数																																																																																								
小型ポンプ操法	0	0	0	0	0	0																																																																																								
自動車ポンプ操法	0	0	0	0	0	0																																																																																								
初任団員訓練 (名取・亶理地区支部)	1	14	1	11	1	14																																																																																								
礼式訓練(幹部)	0	0	1	70	1	48																																																																																								
計	1	14	2	81	2	62																																																																																								

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況																																																								
	(7) 県移譲事務の状況 「火薬類取締法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に係る権限移譲事務を次のとおり処理した。 (単位:件) <table><tr><td>区 分</td><td>R4年度</td><td>R3年度</td><td>増 減</td></tr><tr><td>火薬類に係る事務</td><td>3</td><td>6</td><td>△3</td></tr><tr><td>液化石油ガスに関する事務</td><td>0</td><td>6</td><td>△6</td></tr><tr><td>計</td><td>3</td><td>12</td><td>△9</td></tr></table> (8) 消防設備等の整備 ア 消防資機材等の整備 近年の地震や風水害などの自然災害は、大規模化、複雑多様化傾向にあり、これらの災害に対応するため、消防資機材等の更新を図った。また、車両更新事業では、亘理消防署山元分署に高度救命処置用資器材を積載した高規格救急自動車、岩沼消防署に連絡車を配備するとともに、亘理町より県内初となる電動ストレッチャー積載の高規格救急自動車が無償貸与され、消防力の充実強化を図った。 (ア) 山元分署高規格救急自動車 主要諸元 <table><tr><td>車両全長</td><td>5,750mm</td><td>燃料</td><td>ガソリン</td></tr><tr><td>車両全幅</td><td>1,900mm</td><td>総排気量</td><td>2,693cc</td></tr><tr><td>車両全高</td><td>2,600mm</td><td>乗車定員</td><td>7人</td></tr><tr><td>車両総重量</td><td>3,500k g</td><td>駆動方式</td><td>フルタイム四輪駆動</td></tr><tr><td>地域仕様</td><td>寒冷地仕様</td><td>変速方式</td><td>A／T</td></tr></table> (イ) 亘理消防署高規格救急自動車（亘理町から無償貸与） 主要諸元 <table><tr><td>車両全長</td><td>5,620mm</td><td>燃料</td><td>ガソリン</td></tr><tr><td>車両全幅</td><td>1,940mm</td><td>総排気量</td><td>2,690cc</td></tr><tr><td>車両全高</td><td>2,480mm</td><td>乗車定員</td><td>7人</td></tr><tr><td>車両総重量</td><td>3,225k g</td><td>駆動方式</td><td>フルタイム四輪駆動</td></tr><tr><td>地域仕様</td><td>寒冷地仕様</td><td>変速方式</td><td>A／T</td></tr></table>	区 分	R4年度	R3年度	増 減	火薬類に係る事務	3	6	△3	液化石油ガスに関する事務	0	6	△6	計	3	12	△9	車両全長	5,750mm	燃料	ガソリン	車両全幅	1,900mm	総排気量	2,693cc	車両全高	2,600mm	乗車定員	7人	車両総重量	3,500k g	駆動方式	フルタイム四輪駆動	地域仕様	寒冷地仕様	変速方式	A／T	車両全長	5,620mm	燃料	ガソリン	車両全幅	1,940mm	総排気量	2,690cc	車両全高	2,480mm	乗車定員	7人	車両総重量	3,225k g	駆動方式	フルタイム四輪駆動	地域仕様	寒冷地仕様	変速方式	A／T
区 分	R4年度	R3年度	増 減																																																						
火薬類に係る事務	3	6	△3																																																						
液化石油ガスに関する事務	0	6	△6																																																						
計	3	12	△9																																																						
車両全長	5,750mm	燃料	ガソリン																																																						
車両全幅	1,900mm	総排気量	2,693cc																																																						
車両全高	2,600mm	乗車定員	7人																																																						
車両総重量	3,500k g	駆動方式	フルタイム四輪駆動																																																						
地域仕様	寒冷地仕様	変速方式	A／T																																																						
車両全長	5,620mm	燃料	ガソリン																																																						
車両全幅	1,940mm	総排気量	2,690cc																																																						
車両全高	2,480mm	乗車定員	7人																																																						
車両総重量	3,225k g	駆動方式	フルタイム四輪駆動																																																						
地域仕様	寒冷地仕様	変速方式	A／T																																																						

項目及び 決算額 (単位:千円)	事業の執行状況			
	(ウ) 岩沼消防署連絡2号車			
	主要諸元			
	車両全長	4,260mm	燃料	ガソリン
	車両全幅	1,690mm	総排気量	1,490cc
	車両全高	1,710mm	乗車定員	6人
	車両総重量	1,430kg	駆動方式	前輪二輪駆動
	地域仕様	-	変速方式	A/T
	(エ) 亘理行政車			
	主要諸元			
	車両全長	4,260mm	燃料	ガソリン
	車両全幅	1,690mm	総排気量	1,490cc
	車両全高	1,710mm	乗車定員	6人
	車両総重量	1,430kg	駆動方式	前輪二輪駆動
	地域仕様	-	変速方式	A/T
	(9) 主な支出			
	(単位:円)			
	山元分署高規格救急自動車			36,850,000
	消防職員用被服			10,087,675
	消防デジタル無線及び通信回線利用経費			6,515,291
	消防指令システム・デジタル無線保守点検料			5,148,000
	岩沼消防署連絡2号車			3,080,000
	亘理行政車			3,080,000
寝具賃貸料			2,113,894	
消防用ホース (32本)			1,361,800	

